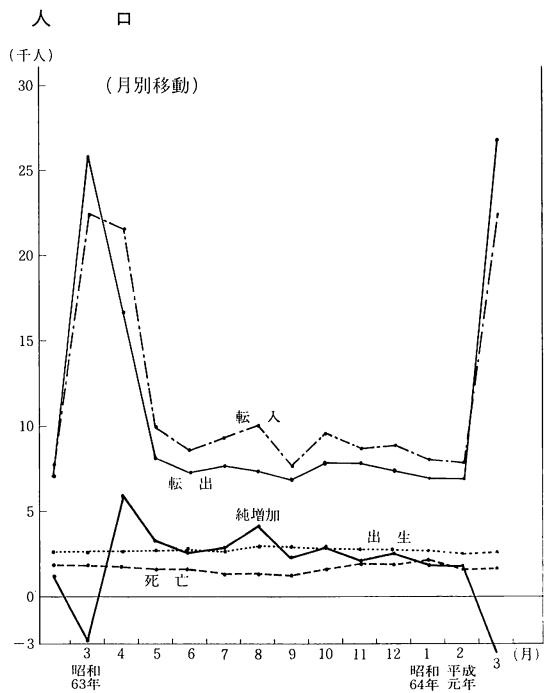
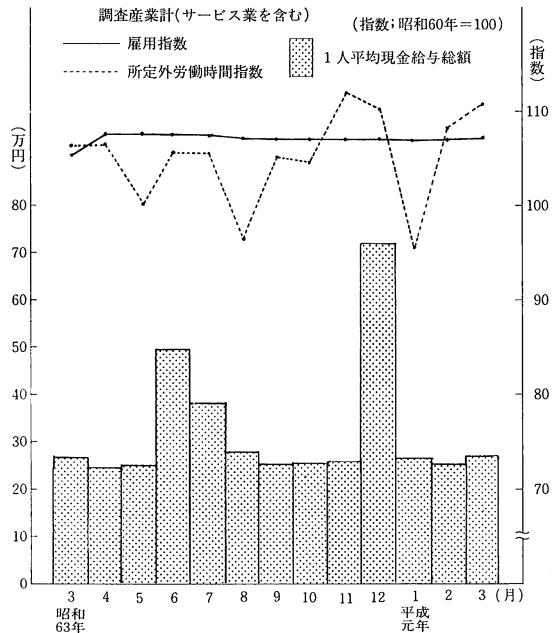


●今月の主な動き

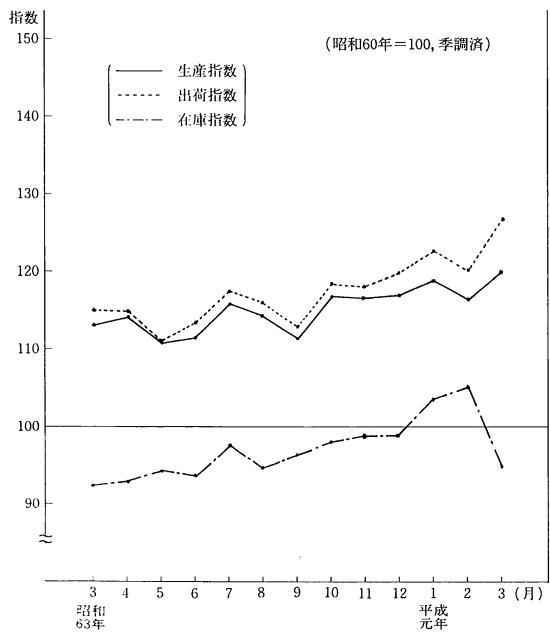
今月の主な動き



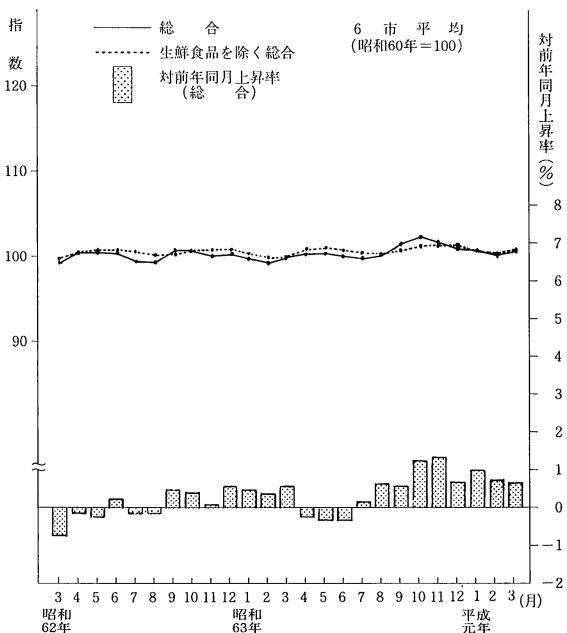
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



今月の主な動き●

主な動きのあらまし 企画部統計課

■人 口(4月1日)

本県の人口は、3月中に3,302人減少し、4月1日現在で2,804,567人(男1,397,007人、女1,407,560人)となった。

内訳は自然動態で857人(出生2,480人、死亡1,623人)増加し、社会動態で4,159人(転入22,385人、転出26,544人)減少した。昨年4月1日現在と比較すると、27,110人(0.98%)の増加である。

■賃金・労働時間・雇用(3月)

1. 平均賃金の推移

3月の現金給与総額は、調査産業計で274,219円、前年同月比2.6%増(前月は2.1%増)であった。このうちきまって支給する給与は250,036円、前年同月比3.6%増(前月は2.5%増)であった。また、きまって支給する給与のうち、所定内給与は、218,692円で前年同月比2.6%増(前月は1.8%増)であり、超過労働給与は、31,344円で前年同月比1.1%増であった。

なお、実質賃金は前年同月比2.4%増であった。

■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉(3月分)

本県における平成元年3月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が120.0、出荷が127.0、在庫が95.1で、前月比は、生産が2.1%の上昇、出荷が5.1%の上昇、在庫が△9.3%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が6.0%の上昇、出荷が10.6%の上昇、在庫が3.1%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉱業、輸送機械工業、非鉄金属工業等が上昇し、繊維工業、鉄鋼業、精密機械工業等が低下した。出荷では、金属製品工業、鉄鋼業、

■消費者物価指数(3月)

平成元年3月の茨城県消費者物価指数は、総合で100.9(昭和60年=100)となり、前月比0.5%の上昇、前年同月比0.7%の上昇となった。

今月上がった主な項目……衣料6.9%，野菜・海草2.4%，油脂・調味料1.2%，教養娯楽耐久財1.1%

今月下旬がった主な項目……シャツ・下着0.8%，履物類0.3%，身の回り用品0.3%

生鮮食品を除く総合は101.1となり、前月に比べ0.4%の上昇、前年同月に比べ0.8%の上昇となった。

市町村別では、増加が5市30町村、減少が15市37町村、増減なしが1町である。3月は例年のとおり、学卒者を中心とした転出が目立つ月であり、特につくば市、日立市は千人を超える減少を示している。また地域別にみると県南地域のみ増加しているのに対し、他の3地域は減少している。

世帯数についても970世帯減少し、800,555世帯となった。

2. 労働時間

3月の総実労働時間は173.4時間で、前年同月比2.6%減(前月は2.4%減)であった。このうち所定内労働時間は153.6時間で、前年同月比3.4%減(前月は2.8%減)であった。また所定外労働時間は19.8時間で前年同月比4.7%増(前月は1.6%増)であった。

3. 雇用の動き

3月の常用雇用の動きを前年同月比によってみると2.3%増(前月は2.1%増)であった。

その他工業等が上昇し、鉱業、繊維工業、電気機械工業等が低下した。在庫では、精密機械工業、鉱業が上昇し、電気機械工業、輸送機械工業、石油・石炭製品工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、その他用生産財、建設財等が上昇し、耐久消費財、非耐久消費財等が低下した。

出荷では、建設財、非耐久消費財等が上昇し、資本財が低下した。在庫では、非耐久消費財、その他用生産財、建設財等の全ての財で低下した。

費目別指數

(昭和60年=100)

区分	指數	上昇率(%)		区分	指數	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	100.9	0.5	0.7	保健医療	103.2	0.1	0.3
食 料	99.8	0.6	0.3	交通通信	100.2	0.1	0.1
住 居	109.4	0.0	2.6	教 育	113.2	0.0	2.8
光熱・水道	87.6	0.0	△0.6	教養娯楽	103.3	0.4	1.8
家具・家事用品	98.8	△0.1	△0.1	諸 雜 費	103.6	0.0	0.7
被服及び履物	100.7	2.9	1.5	生鮮食品を除く総合	101.1	0.4	0.8